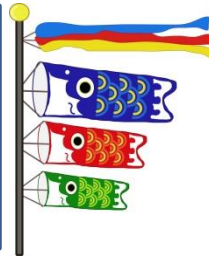


たんぽぽ

2017. 5. 1



木曜日は散歩に行きます！

北里学級では、双葉小学校と麻溝台中学校から派遣された専任の教員により通常の学校と同じように授業を行っています。2週間以上の入院の場合は、両校に籍を移して授業を受けることもできます。院内学級は、小児病棟を持つ病院の一部に開設されていますが、相模原市内では北里大学病院のみです（県内には「県立子ども医療センター」など13の病院に開設されています）。月曜日から金曜日の毎日、時間割に沿って授業をおこなっていますが、木曜日の午後の授業は医師の許可がおりた子どもを対象に「構内散歩」を実施しています。病院の建物を出て、外の空気に触れることにより、気持ちの転換を図ります。散歩の途中で、「シャボン玉あそび」をしたり、北里大学の海洋生命科学部が開設している「アクアリウムラボ」（ミニ水族館）を見学させていただくこともあります。入院生活を送っている子どもたちにとって、気持ちの転換は非常に重要で、「ああ楽しかった！」と生き生きとした表情で、病室に戻っていきます。

院内学級の役割は、入院中の教育活動（学習だけでなく、集団活動や心の支援など）ですが、医療活動にもプラス面があります。ひとりぼっちで家庭を離れて入院生活を送っている子どもたちにとって、少しでも心の支えになれるような院内学級でありたいと思っています。



北里学級ってどんな場所？

1学期が始まって一月が過ぎました。北里学級を担当する教員は、医療スタッフと連携して、入院中の小中学生が目標を持って生活し、一日でも早く学校に戻ることができるよう、こんな気持ちで応援しています。

こんなことを心がけています

- 学習の空白を作らないように、在籍している学校と連携して授業をおこないます
- 子どもに、小中学生であること（学校に戻ることを）を忘れさせないようにしています
- 子ども同士のコミュニケーションを育てるようにしています
- 出会ってすぐに信頼関係を築くにはどうしたらよいか、考えます
- 表情やつぶやきから、子どもの気持ちを察するようにしています
- 子どもや保護者の不安に寄り添い、心を支えるにはどうすれば良いか考えています
- 自然に「北里学級に行ってみようかな」という気持ちになるような接し方を心がけています

医療スタッフからみた北里学級

- 興味関心があるものを理解し寄り添ってくれる場所
- 患者がその人らしくいられる場所
- 意欲を引き出してくれる場所
- 自己肯定感が得られる場所
- 仲間とともに支えあえる場所

私が退院したらやりたいこと

おしを体のことを気にせず、たろく食べたい！

スライのフラベナを飲みたい！

家族で静岡に旅行に行き海に入りたい！

読売ランドに遊びに行きたい！

あとデズニーに泊まりで行きたい！

入院していた分の学校生活を乗りたい！

千葉雄大の出てる映画とコトの映画を見たい！

ワニオクのライブに行きたい！

彼氏が欲しい！

ゲームのワレンテムでおかしをたくさん取って食べたい！

ペンネームに<子>

私が退院したらやりたいこと

アメリカンチェリーパイが飲みたい！

、焼肉をお腹が破裂するまで食べたい。

、おすしも3L食べた。

、ピザピボットを1L食べた。

、デズニーランドに行きたい。

、ユニバーサルスタジオジャパンに行きたい。

、友達と一緒に遊びたい。

、E-girlsのライブに行きたい。

、ミヤ目のライブも行きたい。

、家族みんなで旅行に行きたい。

ペンネーム <が子>

やっぱり食べることだね！

にく子ちゃんとピザ子ちゃん（中2）の「退院したらやりたいこと」